

弥生時代のデザイン・モチーフ

辛川 あかり

【講座の概要】

弥生時代のデザイン・モチーフ

水稲耕作が朝鮮半島から伝播し、主導者の指揮のもと集団で米づくり中心の生活を営むようになるのが弥生時代です。弥生時代において主導者は呪術的な祭祀を重んじたようであり、遺跡からは銅鐸などの青銅製祭祀具のほか、特別な文様を施した土器や祭祀専用品などが出土することが多くなります。

考古学遺物におけるデザインとして考えられるのは、機能美や独創性などの「モノそのものの美しさ」が挙げられます。モチーフとしては素材の転換やかたちの強調、ミニチュア化といった「価値や意味の強調、形状化」が考えられます。また、施文や彩色により呪術的な色合いなどの価値や意味を付加された遺物も存在します。

1. 美しさ [図1]

モノそのものの美しさ、すなわちモノのデザインです。弥生時代に入ると道具は用途によりつくり分けられ、その機能性を追求されました。これにより、装飾によって華美に加飾されたものではない、モノそのもののフォルムから美しさを感じられる土器や木器がつくられようになりました。

2. かたどる [図2]

弥生時代の遺物には、素材を換えてモノを同じかたちに写したものが存在します。これがモチーフにあたります。最も多いのは青銅または鉄製品の武器を木や石、骨製品につくりかえたものです。この場合、本来の武器としての機能をうしなうことから、祭祀具として用いられたと考えられます。また、本来の遺物よりも巨大化したものや、逆に矮小したものもあり、これらも祭祀のための専用品であるされています。これらの「モチーフ」はモノ本来の機能ではなく、ものに付加された価値・意味を強調、形状化したものと考えることができます。

3. 価値・意味の付加 [図3～6]

施文や彩色により特定の意味を付加された遺物があります。特に鋸歯文・綾杉文・流水文・袈裟襷文は銅鐸や祭祀用の土器に、バチ形文・旋帯文・S字状文などと呼ばれる文様は祭祀用の器台や壺に用いられる特別な文様です。また、人物や生き物、場面が描かれた土器や木製品もあります。これらの文様や絵画は、モノのもつ価値や意味を高めたり、使用状況を限定したりして特殊性を強調していると考えられます。鋸歯文・綾杉文や旋帯文古墳時代にも引き続き呪術的な意味合いで用いられます。

【参考文献】

愛知県陶磁美術館 2020 『YAYOI モダンデザインーニッポンの美、ここに始まるー』



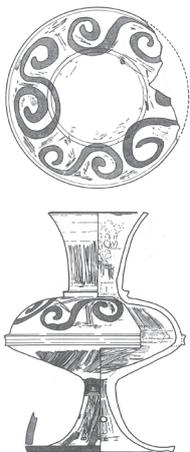
左から：ジョッキ形土製品・把手付き水差し・壺形土器・用途不明土器／南方（済生会）遺跡

図1 機能美・独創性

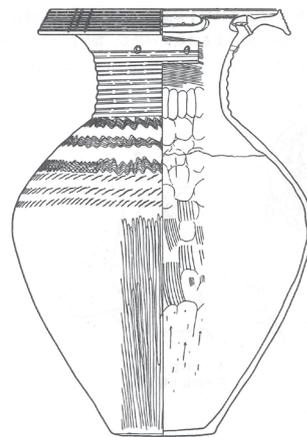


左から：刀形木製品・銅剣形木製品・銅戈形木製品・ミニチュア土器／南方（済生会）遺跡

図2 かたどる・かたちの強調・ミニチュア化

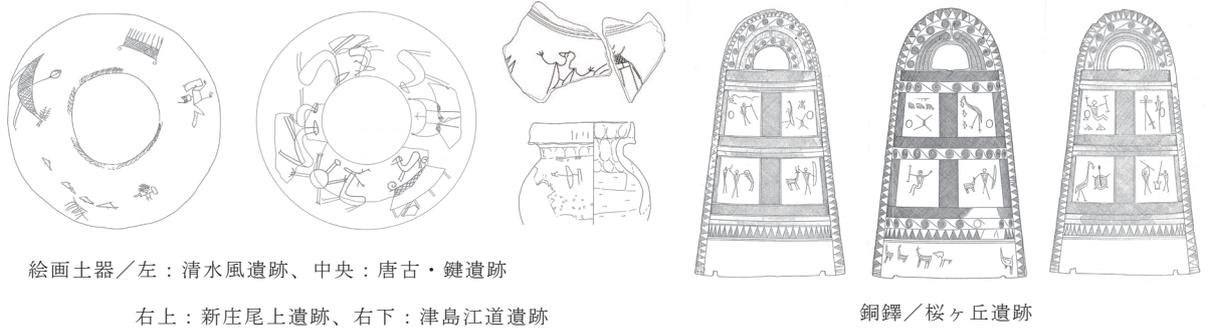


左：彩色／百間川原尾島遺跡
右：直線文・貝殻による文様
／百間川沢田遺跡



左：波状文・直線文／上東遺跡、右：彩色／南方（済生会）遺跡

図3 文様・彩色



絵画土器／左：清水風遺跡、中央：唐古・鍵遺跡
 右上：新庄尾上遺跡、右下：津島江道遺跡

銅鐸／桜ヶ丘遺跡

船団の絵が描かれた木製品／青谷上寺地遺跡、袴狭遺跡

図4 場面を描く（祭祀・狩り・生活・航海）



左：サメ、羊が描かれた木製品／青谷上寺地遺跡

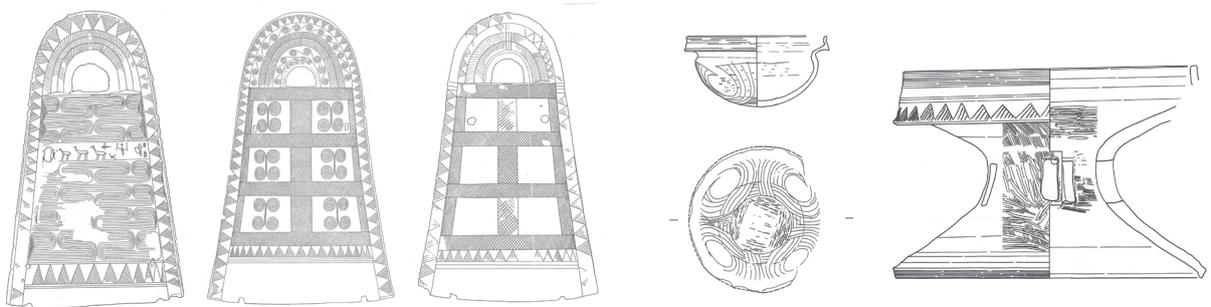
中央：人面文土器／上東遺跡

右：分銅形土製品／南方（済生会）遺跡

土器に描かれた龍

左から：天瀬遺跡、池上遺跡、
 八尾南遺跡、足守川加茂A
 遺跡

図5 生き物を描く、人物表現



左：流水文、中央：渦巻文、中央・右：袈裟襷文／桜ヶ丘遺跡

左：弧帯文／上東遺跡、右：鋸歯文／甬崎天神山遺跡

図6 特別な文様

《図出典》

- 梅本健治 2017 「国道 313 号道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査報告（5） 御領遺跡（第 7 次調査 2013）」『公共財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書』第 77 集
- 岡本茂史・森屋美佐子ほか 2008 「八尾南遺跡」『(財) 大阪府文化財センター調査報告書』第 172 集
財団法人大阪府文化財センター
- 岡山県教育委員会 1977 「川入・上東」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』16
- 岡山県教育委員会 1984 「百間川原尾島遺跡 2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』56
- 唐古・鍵考古学ミュージアム 2008 『弥生デザイン～原始・古代の文様～』
唐古・鍵考古学ミュージアム展示図録 Vol.8
- 北浦弘人 2001 「青谷上寺地遺跡」 3 『鳥取県教育文化財団調査報告書』72
財団法人鳥取県教育文化財団
- 草原孝典 2011 『津島江道（給食棟・南棟校舎）遺跡－官衙遺跡に変貌する集落遺跡の発掘調査報告－』
岡山市教育委員会
- 下澤公明編 2001 「下庄遺跡 上東遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』157 岡山県古代吉備文化財センター
- 柴田英樹・宇垣匡雅ほか 1994 「甫崎天神山遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』89
岡山県古代吉備文化財センター
- 出宮徳尚・草原孝典 1999 『長坂古墳群発掘調査報告書』岡山市教育委員会
- 春成秀爾 2011 『祭りと呪術の考古学』塙書房
- 兵庫県教育委員会 1969 『神戸市桜ヶ丘銅鐸・銅戈』解説編 1
- 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所編 2000 「袴狭遺跡」『兵庫県文化財調査報告書』第 197 冊
兵庫県教育委員会
- 藤田三郎 2003 「絵画土器・特殊土器」『奈良県の弥生土器集成』本文編 大和弥生文化の会
- 安川満・寒川史也 2016 『南方遺跡－岡山済生会総合病院新病院建設に伴う発掘調査－』〈第 1 分冊〉
岡山市教育委員会
- 湯村功 2002 「青谷上寺地遺跡」 4 『鳥取県教育文化財団調査報告書』74 財団法人鳥取県教育文化財団
- 若嶋俊行 2012 「青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告 8 木製農具・漁撈具」『鳥取県埋蔵文化財センター調査報告』47 鳥取県埋蔵文化財センター